

船舶事故調査報告書

平成30年9月12日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 佐藤 雄二（部会長）
 委員 田村 兼吉
 委員 岡本 満喜子

事故種類	転覆																													
発生日時	不明（平成29年12月22日 03時00分ごろ～11時03分ごろ）																													
発生場所	不明（福岡県北九州市小倉北区 ^{あいのしま} 藍島漁港大泊地区南東方沖）																													
事故の概要	漁船 ^{けいふく} 圭福丸は、航行中、転覆した。 圭福丸は、船長が死亡し、主機の濡損等を生じた。																													
事故調査の経過	平成29年12月22日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため、行わなかった。																													
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 圭福丸、2.9トン FO3-32021（漁船登録番号）、個人所有 9.94m (Lr) × 2.48m × 0.69m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数70、平成3年11月23日 第291-31822号（船舶検査済票の番号）																													
乗組員等に関する情報	船長 男性 64歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年12月26日 免許証交付日 平成27年6月23日 （平成32年8月22日まで有効）																													
死傷者等	死亡 1人（船長）																													
損傷	主機等に濡損及び船首部水面下に擦過傷（全損）																													
気象・海象 気象：天気 晴れ 本船出港場所の南南西方約9.2海里（M）に位置する八幡地域気象観測所の観測値は、次のとおりであった。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">日時</th> <th colspan="2">平均</th> <th colspan="2">最大瞬間</th> </tr> <tr> <th>風向</th> <th>風速 (m/s)</th> <th>風向</th> <th>風速 (m/s)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22日 02:00</td> <td>南南西</td> <td>2.9</td> <td>南</td> <td>4.9</td> </tr> <tr> <td>03:00</td> <td>南南西</td> <td>3.2</td> <td>南西</td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>04:00</td> <td>南南西</td> <td>3.2</td> <td>南</td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>05:00</td> <td>南南西</td> <td>3.9</td> <td>南南西</td> <td>6.5</td> </tr> </tbody> </table>	日時	平均		最大瞬間		風向	風速 (m/s)	風向	風速 (m/s)	22日 02:00	南南西	2.9	南	4.9	03:00	南南西	3.2	南西	5.2	04:00	南南西	3.2	南	5.2	05:00	南南西	3.9	南南西	6.5
日時	平均		最大瞬間																											
	風向	風速 (m/s)	風向	風速 (m/s)																										
22日 02:00	南南西	2.9	南	4.9																										
03:00	南南西	3.2	南西	5.2																										
04:00	南南西	3.2	南	5.2																										
05:00	南南西	3.9	南南西	6.5																										

	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>06:00</td> <td>南南西</td> <td>3.6</td> <td>南西</td> <td>5.8</td> </tr> <tr> <td>07:00</td> <td>南南西</td> <td>4.2</td> <td>南</td> <td>6.5</td> </tr> <tr> <td>08:00</td> <td>南南西</td> <td>3.0</td> <td>南</td> <td>4.9</td> </tr> <tr> <td>09:00</td> <td>南</td> <td>4.4</td> <td>南</td> <td>7.4</td> </tr> <tr> <td>10:00</td> <td>南南西</td> <td>3.1</td> <td>南南西</td> <td>6.5</td> </tr> <tr> <td>11:00</td> <td>南南西</td> <td>3.4</td> <td>南南西</td> <td>5.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>海象：波高 約1m、水温 約18℃</p>	06:00	南南西	3.6	南西	5.8	07:00	南南西	4.2	南	6.5	08:00	南南西	3.0	南	4.9	09:00	南	4.4	南	7.4	10:00	南南西	3.1	南南西	6.5	11:00	南南西	3.4	南南西	5.7
06:00	南南西	3.6	南西	5.8																											
07:00	南南西	4.2	南	6.5																											
08:00	南南西	3.0	南	4.9																											
09:00	南	4.4	南	7.4																											
10:00	南南西	3.1	南南西	6.5																											
11:00	南南西	3.4	南南西	5.7																											
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、平成29年12月22日03時00分ごろ、北九州市小倉北区西^{にしみなと}港町の市場に前日に獲った漁獲物を水揚げする目的で、本船の係留場所である藍島漁港大泊地区を出発した。</p> <p>本船は、11時03分ごろ、北九州市小倉北区馬島西方沖の浅瀬付近で転覆した状態で、航行中の旅客船に発見され、海上保安庁に118番通報された。</p> <p>海上保安庁は、本船の船長が所属する漁業協同組合支所に連絡するとともに、水難救済会と連携して巡視艇1隻、ヘリコプタ1機及び水難救済会所属船2隻で捜索を開始した。</p> <p>漁業協同組合支所担当者は、海上保安庁からの連絡を受け、島内放送で同組合支所所属船に本船の船長の捜索を依頼した。</p> <p>本船の船長は、捜索を行っていた僚船の船長により、転覆した本船の操舵室内で発見され、来援した海上保安庁の機動救難士によって船内から救助された後、ヘリコプタで搬送された北九州空港で北九州市消防局救急隊員により死亡が確認され、その後、医師により溺水による死亡と検案された。</p> <p>本船は、藍島漁港本村地区にえい航された。 (付図1 本船発見場所概略図、写真1 転覆した本船、写真2 えい航後に上架された本船 参照)</p>																														
その他の事項	<p>船長は、漁船員としての経験が約50年あり、本船に約8年前から乗り組んでいた。</p> <p>船長は、ふだん、甲板員と2人で本船に乗り組み、漁に出る際には救命胴衣を着用していたが、市場に行くときには着用していなかった。</p> <p>船長は、ふだん、市場に行く際は03時ごろに出港しており、本事故当日02時40分ごろに起床していた。</p> <p>船長は、防水型の携帯電話を携行していた。</p> <p>本船は、発見された際、主機のクラッチレバーが前進位置に入っており、他船と衝突したような痕跡がなかった。</p>																														
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与	<p>不明</p> <p>不明</p>																														

<p>気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>本船は、03時00分ごろ藍島漁港大泊地区を出港し、11時03分ごろ馬島西方沖において転覆した状態で発見されたことから、この間において転覆したものと考えられる。</p> <p>本船は、主機のクラッチレバーが前進位置に入っており、船長が転覆した本船の操舵室内で発見されたことから、航行中に転覆したものと考えられるが、船長が死亡していることから、転覆に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長の死因は、溺水であった。</p> <p>船長は、転覆した際に操舵室が海中に没し、操舵室内で溺水したものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、藍島漁港大泊地区を出港して航行中、転覆したものと考えられる。</p>

付図1 本船発見場所概略図

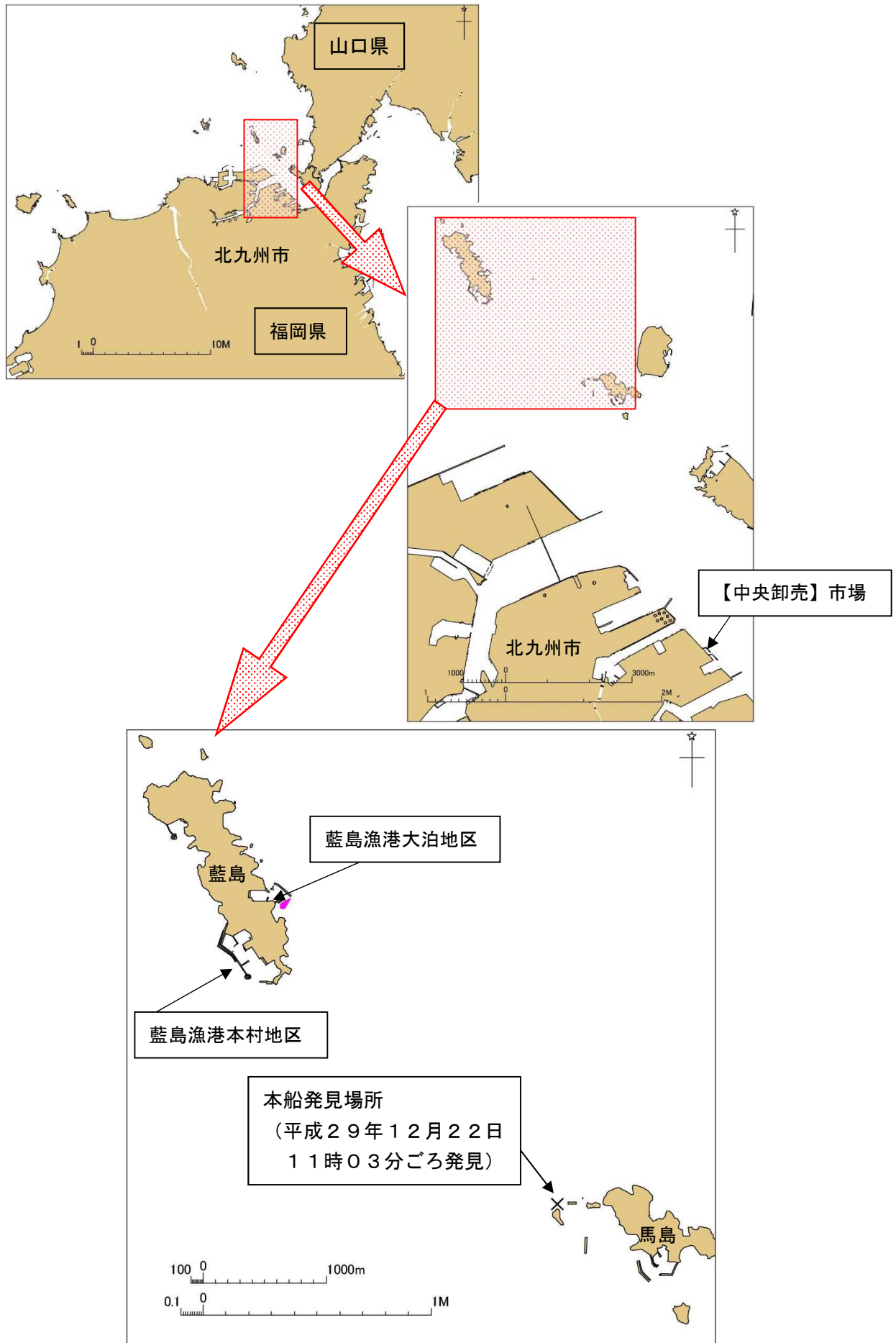


写真1 転覆した本船



写真2 えい航後に上架された本船

